

# ひろしまの 土地改良



2016年 第245号



第14回ひろしまの農村フォトコンテスト 最優秀賞  
「棚田の恵み」 木本 剛義 (撮影場所：安芸太田町)

## ● 農業・農村の振興に関する講演会

平成28年2月5日(金)、ホテル広島ガーデンパレスに於いて、進藤かねひこ氏(都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問)を講師に招いて、「今後の農業農村振興について」と題し講演会が開催されました。

講演に先立ち本会の下垣副会長常務理事が進藤氏の、「安全で安心な食、大切な農地と水、美しい農山漁村」を守り抜く力に大きな期待を寄せている旨を述べられました。

講演会では「豊かな農業農村の振興に必要な「3つの約束」と「5つの施策」について講演され、農地・水の保全や管理といった土地改良区の果たしてきた役割や価値の重要作業について熱弁をふるわれました。参集した土地改良関係者一同、進藤氏と想いを一つにし、大きな拍手のなか講演会を終了しました。(写真は講演会のようす)



## 広島県土地改良事業団体連合会第58回通常総会 並びに第55回土地改良功労者表彰式開催

平成28年2月5日(金)13時30分から広島市内の広島ガーデンパレスにおいて、農林水産省中国四国農政局の強谷次長、広島県の寶来農林水産局長をはじめとする来賓の方々を迎え、広島県土地改良事業団体連合会第58回通常総会並びに第55回土地改良功労者表彰式が開催されました。



開会挨拶 羽田会長



来賓挨拶 強谷次長

はじめに、第55回土地改良功労者表彰式が行われ、広島県知事表彰1名、広島県土地改良事業団体連合会長表彰14名の方々に、表彰状並びに感謝状が贈られました(受賞者名簿別掲)。

続いて第58回通常総会が開催され、開会にあたり羽田会長より、「TPP協定が大筋合意され、今後の自由化に向けては農業の競争力強化による、強い農業への転換を図っていく必要がある。農業農村整備関係予算は、平成27年度当初予算より1,222億円の増額となっており、農業・農村整備の更なる推進に向けて大いに期待し、本会も行政を補完する組織としての使命・役割を十分に果たしていきたい。」と挨拶を述べられました。

引き続き深安郡神辺町土地改良区久川理事長が議長に選任されて議事に入り、全ての議案が原案通り可決されました。

- 第1号議案 規約の一部改正について
- 第2号議案 平成26年度事業報告及び収入支出決算について
- 第3号議案 平成27年度収入支出予算の補正について
- 第4号議案 平成28年度事業計画及び収入支出予算について
- 第5号議案 平成28年度賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第6号議案 平成28年度余裕金の預入先の指定について
- 第7号議案 平成28年度役員報酬について

最後に農業・農村整備事業への継続的な予算の確保をはじめとした7項目を決議し、閉会しました。

### ●農林水産功労者(農業部門)表彰(広島県知事表彰)

増原 康昭 様(広島市祇園町外二ヶ町土地改良区 理事長)

市街化区域を受益とする八木用水路の維持・管理が大変困難な中、理事長として熱意を持って浚渫や改良工事計画に取り組み、施設全体の維持管理に尽力される傍ら、地元住民に農業用水の必要性や大切さを伝えるため、ウォーキングや地域全体を巻き込んだ清掃活動などのイベントを企画し積極的に活動されています。

また、平成26年の広島豪雨災害時には精力的に被災状況を調査・確認され、復旧事業に於いては関係各所との迅速な協議・調整を行い、用水路内の土砂撤去など早期の水路の機能回復に尽力されています。



農林水産功労者表彰を受ける増原氏

## ●土地改良事業功労者表彰(広島県土地改良事業団体連合会長表彰)

- ◆個人 林 興太郎 様(山県郡豊平土地改良区 理事長)  
 森 榮輔 様(三次市土地改良区 理事)  
 早瀬 孝示 様(庄原市西城町土地改良区 理事長)  
 藤山 明春 様(比婆郡口和町土地改良区 理事長)  
 児玉 利昭 様(福山市土地改良区 理事)  
 高橋 宏 様(深安郡神辺町土地改良区副理事長)  
 松尾 正教 様(前三原市大和町神田土地改良区理事長)  
 光永 昌司 様(東広島市土地改良区事務局長)

- ◆感謝状 大本 正行 様 木下 一雄 様 砂田 健一郎 様  
 谷本 芳一 様 藤原 康昭 様 宮田 保裕 様



感謝状表彰 宮田氏



個人表彰 林氏



上段左より 谷本氏、宮田氏、藤原氏  
 手前左より 松尾氏、林氏、羽田会長、増原氏、児玉氏、光永氏

## || 広島県農業農村整備事業推進協議会第68回通常総会開催

平成28年2月5日(金)15時30分から広島市内の広島ガーデンパレスにおいて、広島県農業農村整備事業推進協議会第68回通常総会が開催されました。

はじめに浜田会長(安芸高田市長)が、国の施策に伴い農業の体質強化、競争力強化に取り組むためには、安定した農業経営が図られるほか若い人達が農業に魅力を感じてもらえるような積極的な対策が必要であり、「持続可能な力強い農業の実現」に向けた事業提案及び予算の確保を要請されました。来賓の広島県農林水産局赤間 章基盤整備部長から祝辞をいただき、東広島市土地改良区小池理事長が議長に選任された後、議事に入り、いずれも原案通り可決されました。

- 第1号議案 規約の一部改正について  
 第2号議案 平成26年度事業報告及び収入支出決算並びに財産目録について  
 第3号議案 平成28年度事業計画及び収入支出予算について

最後に農業農村整備事業の促進に向けた決議案が可決され、閉会しました。



## 青年農業家インタビュー Young man farmer Interview

「青年農業家インタビュー」シリーズ4回めは、新規就農で世羅町に居を移され(農)ひまわりで米作りを手伝いながら、キャベツやブロッコリー栽培に取り組まれている、東 祐樹さん・多美子さんご夫婦にお話を伺いました。



### 青年農業家たちの昨日・今日・明日

東 祐樹さん・多美子さん



キャベツ栽培の風景 (facebookより)

#### 概要

所在地	世羅郡世羅町下津田
構成員	2名
面積	畑 3ha、田 80a
作物	キャベツ、ブロッコリー、水稻
研修先	農事組合法人ひまわり

#### ——農業を志したきっかけとなったことなどをお話してください

祐樹さんは広島市出身で、福岡県内の大学に在籍中多美子さんと知り合い、将来は二人で飲食店を開きたいと夢を膨らませていました。卒業後はそれぞれ別の飲食店に勤めていましたが、「やるのなら素材にこだわったものを使いたい。」という思いが強くなり、祐樹さんの会社が名古屋市に移転したことも転機となり、会社を辞め二人で渥美半島にある農業法人に飛び込み野菜作りの勉強を始めました。入ったところがたまたまキャベツ・ブロッコリー専門の法人で5年程度色々な人から栽培技術を学び、栽培責任者をやらせていただくまでになりました。

多美子さんは野菜にこだわりがあっても、農業は自分たちでは絶対できない分野だと思っていましたが、祐樹さんと同じ農業法人で勉強しているうちに、料理を作るより1個のキャベツを作るほうが魅力的だと感じるようになり、気付いたら農業にハマっていました。

#### ——どうして世羅町で農業をしようと思われたのですか？

実家が広島で、自分が長男ということもあり、広島市内で就農しようと考えていましたが、両親や親戚は誰も農業をしたことがなかったので、何かと驚かれてしまいました。

逆に誰もやっていなかったことから、農業の大変さを知らずに始められたのではないかと考えています。

場所は県内で色々探していたのですが、ある時キャベツをするのなら世羅町がいいよと言われ足を運びました。しかし全く知らない土地は風土や要件などもわからず、農業以前に、まず生活していけるのかという不安もありましたが、出会う人みんなに「農業がやりたいんです。」と話しをすると、知り合いに声をかけたり気にとめたりしてくれました。結局、世羅町に来て半年くらいで農地が見つかり、農地が見つかれば家も貸して下さる方がおられ、条件がすぐに整っていきました。

暖かく受け入れてくれる地域の人たちとの繋がりがあって、農業ができていることに感謝しています。



東さんご夫婦

### —新しい地で農業を始めてみた感想はどうか？

当初は機械は貸してもらっていましたが、世羅町の補助もあり昨年、必要な農機具をまとめて購入しました。また、実践研修では農事組合法人ひまわりでアスパラや水稲など指導を受ける傍ら、組合員として水稲80aを任されています。就農準備にあたって、行政・地元・受け入れ先の農業法人との連携により、農業技術が学べることへの安心感は世羅町ならではとなり、この1年の研修がとても身に付くものになったと振り返っています。

農業は感覚の世界で、生育の過程で苗が自分の感覚に応えてくれたと思える瞬間がとても楽しいと実感しています。水やり一つにしても、微妙なさじ加減や感覚一つで作物は変わり、生育の奥深さも「農業にハマった」理由だと思っています。

### —経営についてはどうですか？

農業を仕事にするのだから野菜を作っても販路がしっかりしていないと…。現在はスーパーなどで「東さんのキャベツ・ブロッコリー」と名前を明記してもらい販売してもらっています。いいものを作れば皆さん、認めてくれるので。種蒔きから収穫・出荷の全てを二人で行い、酸素をたくさん取り入れたキャベツが出来るよう、こまめに作業を行っています。

ある時、「キャベツを持ってきてください。」と言われるお店もありましたが、二人だけでやっているのを断ろうと思っていたところ、「どうしても欲しいので取りに行きます。」と言われ、取りに来たお店もありました。まだ就農1年目ながら利益が出ているのはありがたく、こだわりキャベツの売上げの成果に手ごたえを感じています。



2月中旬に種を蒔いたキャベツの苗



苗の生育状況をチェック

### —農業の魅力や今後についてお聞かせください

地域に根づいた農業をしていかないといけない、という責任を感じています。若い人で農業をやりたいという人の話はよく耳にしますが、どこから手をつければいいのかわからない人達の声聞きます。自分たちの経験がひとつの入口となるよう、町内のモデルケースになって道づくりを行っていきたく、意欲を燃やされています。

### —インタビューを終えて

「食」に触発され少し農業も勉強したいと足を踏み入れ、歩む道が飲食業から農業への方向転換には驚かされました。足元が悪い中お伺いしたにも拘わらず始終笑顔で対応していただきありがとうございました。これからのご活躍を楽しみにしています。

## ●第57回全国土地改良功労者表彰

### 農業農村整備優良地区コンクール表彰 21世紀土地改良区創造運動表彰

平成28年3月25日(金)、東京都千代田区のシェーンバツハ・サボーで、第57回全国土地改良功労者表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰、並びに21世紀土地改良区創造運動表彰が行われました。

広島県からは5団体、2名が受賞され、賞状と記念品が贈られました。

#### ○全国土地改良功労者表彰(水土里ネット会長表彰)

- 団体 金章 東広島市大曾場土地改良区
- 銀章 広島市祇園町外二ヶ町土地改良区
- 銅章 沼隈郡沼隈町土地改良区
- 個人 前 三原市大和町神田土地改良区理事長  
松尾 正教 様
- 前 広島県土地改良事業団体連合会西部  
事業所 所長 藤原 康昭 様



受賞された皆さん 写真左側2人めより

- 東広島市大曾場土地改良区 井川 信孝 氏
- 沼隈郡沼隈町土地改良区 佐藤 平治 氏
- 広島市祇園町外二ヶ町土地改良区 増原 康昭 氏
- 水土里ネット福山 佐々田 愛 氏
- 農事組合法人シバザクラの里乃美 高橋 貞明 氏
- 前 三原市大和町神田土地改良区理事長 松尾 正教 氏

#### ○農業農村整備優良地区コンクール

##### (農業生産基盤整備部門)農村振興局長賞

乃美地区(農事組合法人シバザクラの里乃美)

#### ○21世紀土地改良区創造運動表彰

部門賞 地域農業部門 水土里ネット福山

## ●平成27年度多面的機能発揮促進事業

### 中国四国農政局長優秀賞を上板木保全隊が受賞

平成27年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長優秀賞に広島県から三次市三和町の上板木保全隊が選ばれ、3月3日三次市に於いて表彰式が開催され、表彰状が授与されました。

平成19年3月に「絆を深め緑と水を守る地域活動の継続」を目指し、上板木保全隊を設立され、地域全体で水源かん養の保全に向けた山林の手入れや、ため池から農地までの水路整備、高齢化等による日常管理が困難な農地は、構成員による草刈隊を編成し共同活動を実施するなど、地域の連携強化が図られたことが評価されました。今後さらなる活性化に向けた取り組みが期待されます。



受賞された上板木保全隊の皆さん



表彰される上板木保全隊

## 多面的機能支払事業の広域化について

### 広域化によるメリット

○広域化し、活動組織同士の結びつきが強くなることにより、地域全体が活性化し、持続可能な農業・農村の実現に繋がります。

①熊本県山鹿市の例（99組織、約3,870haで広域化）

事務作業を事務局へ集約し、各活動組織は農地維持活動に専念出来るようになり、減少傾向であった取組面積は大きく増え、農村集落機能の強化に繋がった。

②熊本県熊本市天明土地改良区の例（約1,000haで当初から取組み）

活動組織には、自治会、子供会、女性会、老人会、小中学校等も参加し、農地維持活動と合わせて地域活動も行うことにより、地域全体の活性化に繋がった。

○なお、複数の活動組織が協定を結び、広域化することにより、事務手続きの負担を減らすことが出来ます。

★広域化に興味がある方は、広島県農地・水・農村環境保全協議会へご相談ください。

お問い合わせ先

広島県農地・水・農村環境保全協議会  
広島県農林水産局農業基盤課

☎082-502-7476  
☎082-513-3649

## 第14回ひろしまの農村フォトコンテスト

### ●入賞作品決定！

第14回ひろしまの農村フォトコンテストの審査会が3月1日（火）に開かれ、応募総数176点から厳選な審査により入賞3作品、審査委員特別賞3作品が選出されました。これまでにない珍しいショットが切り取られた作品など、いずれも撮影者の工夫と技が光っています。併せて広報委員会特別賞15作品を選出しています。

### ●ひろしまの農村フォトコンテスト表彰式を開催

第14回ひろしまの農村フォトコンテスト表彰式が3月15日（火）広島県土地改良会館内において開催されました。主催者を代表してひろしま農業農村整備広報委員会下垣会長より入賞者に、賞状と副賞の授与、大村委員、吉宗委員から講評をいただきました。入賞された方からは、撮影時のタイミングの苦労話や、写真の被写体になった農業者の方のエールになればうれしいと語られました。



審査会の様子



最優秀賞の木本さんを表彰



作品を手に左より佐野さん、木本さん、山口さん

# 第14回「ひろしまの農村フォトコンテスト」入賞作品

※最優秀賞は表紙に掲載

## 優秀賞



「田植のころ」 山口 保子



「若き夫婦の挑戦」 佐野 克彦

## 審査委員特別賞



「ピンクに染まる里」 秋月 静枝



「豊作を願って」 中村 信之



「目覚め」 西尾 透

※入賞作品は、HPに掲載  
しています。

<http://www.hdn.or.jp/>

## 広報委員会特別賞



「美しき通学路」 藤原 敏明



「KG-3にお任せよ」 田中 努



「除虫菊の丘」 清水 洋彦



「熱演」 真田 正之



「大根の収穫」 石黒 一枝



「刈入れ時」 吉川 良治



「おもい大好き」 好川 美佐



「親子の田植体験」 川崎 修司



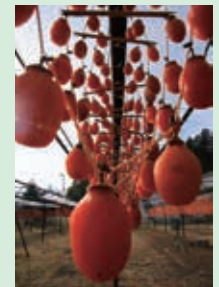
「稔り豊か」 森原 泰子



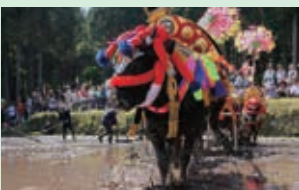
「どろんこ」 村上 泉



「実り」 梶谷 浩



「吊るし柿の里」 手島 洋子



「飾り牛」 上田 弘子



「葉干し」 池本 悦雄



「寒じめ白菜」 上田 弘子



住みやすく豊かな村づくり  
みどり  
水土里ネットひろしま

季刊 ひろしまの土地改良 第 245 号

■ 平成28年4月15日  
編集：ひろしま農業農村整備広報委員会  
発行：広島県土地改良事業団体連合会  
〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館  
■ TEL (082) 502-7470 ■ FAX (082) 502-7480  
■ <http://www.hdn.or.jp>  
■ 印刷：佐々木印刷株式会社